

「輸送網の整備」において「参入促進」・「持続可能性」を確保する支援策

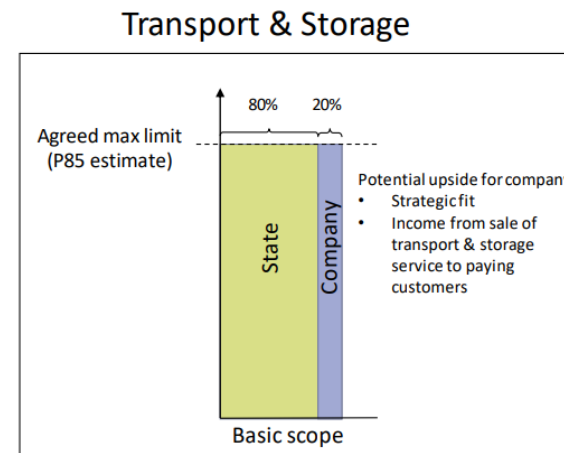
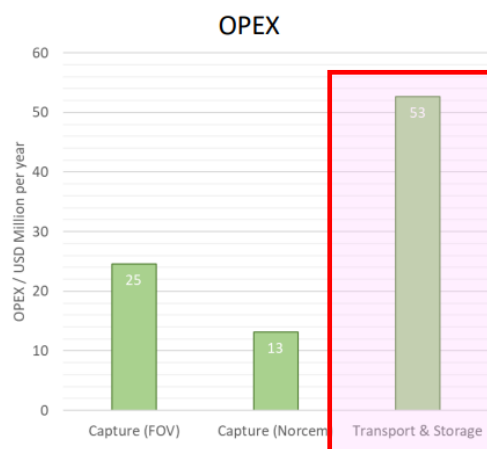
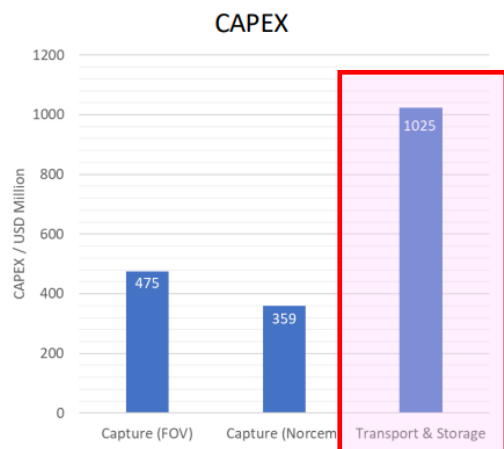
資料 1 3

(2022年9月 第1回 検討WGでの委員の皆様からのご意見)

CCS事業への 政府支援の 在り方の検討

- (先進的事業のモデル性について) 「一番重要な観点は2030年までの事業開始」と「コスト重視」
- (日本全体での負担の最適化について) 「日本の産業界の競争力を損なわない形」が必要
- 「CCS事業が自立する形を当初から視野に入れた仕組みづくり」が必要

海外での先行案件の例 (Northern Lights、ノルウェー)



- 「輸送」及び「圧入」工程が、事業コストの半分以上を占める

- コストの80%を政府、20%を民間が負担

黎明期の案件への十分な支援で民間の参入を促進し、持続可能な市場の早期形成を図る

「輸送網の整備」において「参入促進」・「持続可能性」を確保する支援策

海外での先行案件の例 (Northern Lights、ノルウェー)

